

### 第3次江田島市行財政改革実施計画（平成27年度）進捗状況について

江田島市では、第2次江田島市総合計画で目指す、「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」を実現するため、平成27年度から第3次行財政改革実施計画（H27～H31）に基づく改革を推進しています。この度、平成28年度の財政効果額と平成27年度を取組状況についてまとめました。

#### 1 平成28年度の財政効果額について

行財政改革の初年度である平成17年度と、平成28年度の当初予算を比較すると、▲265,391千円の財政効果額となりましたが、前年度との比較では169,932千円の増となりました。

増額となった主な理由としては、保育施設再編・整備のための設計・改修業務によるもの、産業の活性化や交通体系維持のための補助金の新設及び増額等によるもの及び橋梁改修や道路維持管理のための工事請負費等のインフラ整備によるものがあります。

（単位；千円）

基本方針	No.	項目	平成27年度との比較増減
1 基礎自治体としての体制整備	9	支所・出張所・連絡所等の組織運営の見直し及び適正配置	4,812
	12	小・中学校の適正配置	▲257,810
	13	保育施設の再編・整備	381,692
	小計		<b>128,694</b>
2 「選択と集中」による事務・事業の重点化	22	各種補助金の抜本的な見直しの検討	59,738
	小計		<b>59,738</b>
3 民間活力や住民パワーの活用	26	道路維持業務のあり方の検討	6,152
	小計		<b>6,152</b>
4 組織及び財政のスリム化	44	事務の効率化と時間外、嘱託員報酬の見直し	▲2,937
	53	各種団体への負担金の見直し	▲21,715
	小計		<b>▲24,652</b>
合計			<b>169,932</b>

## 2【重点取組項目】の取組状況

基本取組項目に加え，新たに行政経営の視点による事務改善の実施，市民ニーズに対応した人材育成と組織体制の構築等，改革のコンセプトに即した5つの項目について，重点取組項目としての取組を進めていきます。

No.	重点取組項目	平成 27 年度の取組概要
1	行政経営の視点による事務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 28 年度から事務・事業評価を実施するため，評価シートを作成した。</li><li>・評価内容は，調査項目が他課の調査と重複しないよう関係課と内容を精査調整し，相互利用ができる内容として効率化を図った。</li></ul>
6	市民ニーズに対応した人材育成と組織体制の構築	<ul style="list-style-type: none"><li>・人材育成型人事評価制度について，役職別に研修を実施し，制度の理解浸透を図った。</li><li>・専門的知識を持った職員を計画的に採用するなど，高い住民サービスに対応できる組織づくりを行った。</li></ul>
11	公共施設の再編・整備の推進	<ul style="list-style-type: none"><li>・中心施設の協議が整った地域について，施設整備を進めた。（宮ノ原地区，深江地区）</li><li>・利用の少ない集会施設を廃止し，売却した。（大君地区）</li><li>・市有財産を有効活用できるよう，老朽施設を解体した。（深江地区）</li></ul>
15	「新たな広域連携」の枠組みの中でのより効果的な行政運営の検討	<ul style="list-style-type: none"><li>・広島広域都市圏構成市町において，連携協約の締結を行った。</li><li>・広島市との海生交流協定に基づき，両市の広報誌を活用した相互PRや，広島駅地下広場での観光物産展を開催した。</li></ul>
24	アウトソーシングの積極的な利用	<ul style="list-style-type: none"><li>・今後民間委託を考える上での基本方針となる「アウトソーシング基本方針」を策定した。</li></ul>

## 3 今後の予定

行財政改革実施計画については，毎年見直しを行い，国や県及び社会経済情勢等を的確に改革へ反映していきます。また，取組内容については，年度ごとに進捗状況を確認し，その成果を広く市民に公表していきます。